

台東区環境基本計画

(中間改定版)



概要版



令和6年3月
台東区

計画改定の 目的

- 令和2年3月、区の環境行政の総合的かつ計画的な推進とともに、区域における温室効果ガス排出量の削減を目指し、「台東区環境基本計画」（以下、「本計画」という）を策定しました。
- 本計画は、「自然」、「気候変動」、「循環型社会」「生活環境」「環境学習・協働」の5つの分野で基本目標を掲げており、区民・事業者・地域団体や区との連携・協働による具体的な事業を展開しています。
- 区は令和4年2月、深刻化する気候変動問題や世界的な脱炭素社会への動きを踏まえ、令和32（2050）年の二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。
- 上記に加え、社会情勢等の変化や計画の進捗状況などに対応するため、基本理念、基本目標など骨子となる枠組みは継承しつつ、取組の柱及び取組事業を中心に見直しを行いました。

計画の期間

- 国内外の地球温暖化対策の目標年やSDGsと整合を図るため、令和6年度から令和12（2030）年度までの7年間です。

平成 12 年度	~	平成 21 年度	平成 22 年度	~	令和 元 年度	令和 2 年度	~	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	
← 10年間 →		← 10年間 →				(4年間)		(7年間)								
						←		11年間							→	

基本理念

1

今ある環境資源を活かしながら よりよい

- 多種多様な産業の集積、日本を代表する上野・浅草などの観光地、
- これらの豊かな環境資源を活かし、次世代へ継承して、「住みたい」

2

生活様式を見直し 地球環境に配慮した「環

- 地球環境問題を克服していくためには、環境保全と経済成長が両立
- 深刻化する世界の気候変動等を自覚し、企業活動をはじめ一人ひと

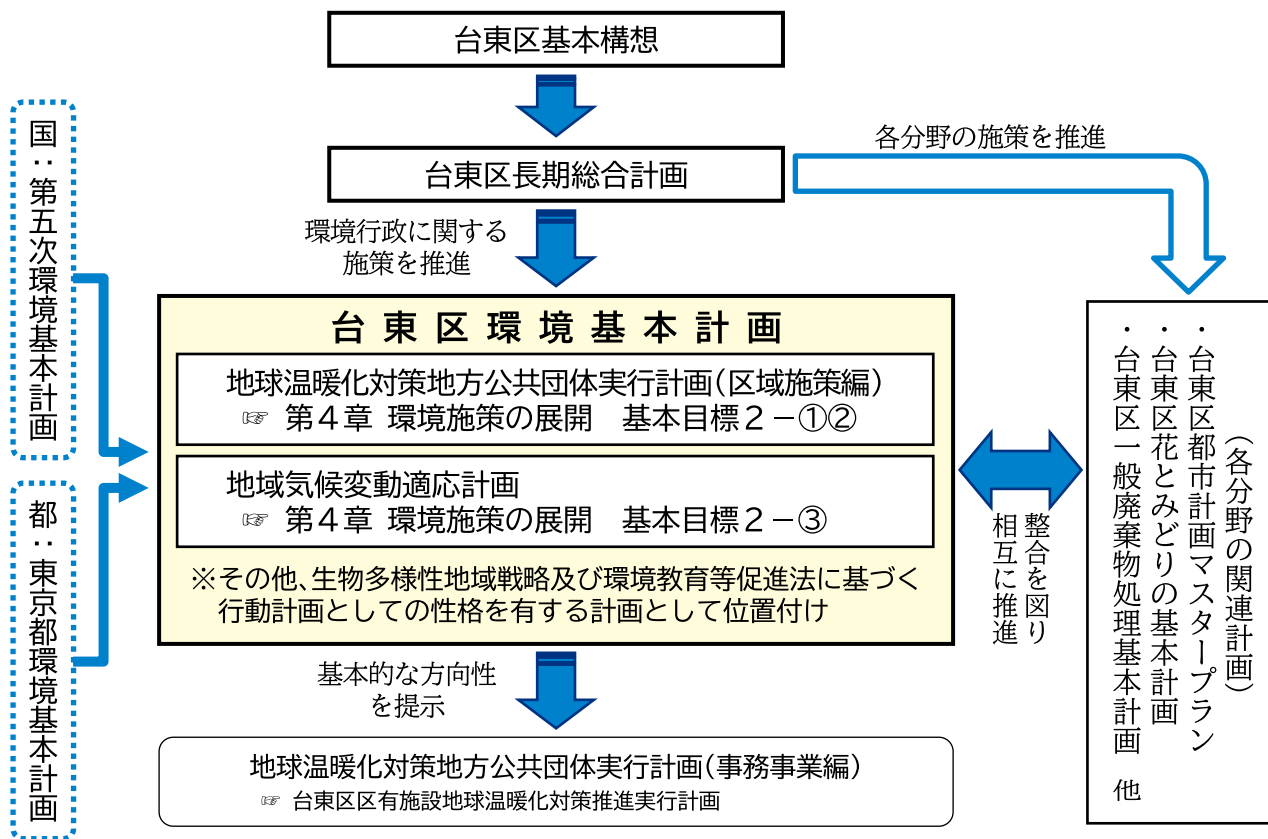
3

地域を基盤に区民・事業者・区が協働して

- 台東区では、支え合いを基調とする地域性が古くから生まれ、こう
- 区民や町会、地域の団体や企業、来街者など、多様な主体間の協働

計画の位置付け

- 本計画は、「台東区基本構想」「台東区長期総合計画」を上位計画とし、国の「第五次環境基本計画」、東京都の「東京都環境基本計画」を踏まえ、台東区全域を対象範囲とした環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画です。
- また、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）」や、「気候変動適応法」に基づく「地域気候変動適応計画」を含めます。
- なお、本計画は、令和6年4月施行予定の「東京都台東区環境基本条例」に基づく、区の環境分野の基本的な計画となります。



環境を創造し、次世代へ継承していきます

隅田川や不忍池、上野の山や、点在する寺社・公園のみどりが、台東区の環境資源となっています。「働きたい」「訪れたい」と思えるよりよい環境を創造していきます。

「境都市」をめざします

した持続可能な発展を目指して、天然資源の循環的な利用と脱炭素化を実現する必要があります。りの行動の部分でも取組を進化させ、地球環境に配慮した世界に輝くまちを創造していきます。

計画の実現に取り組んでいきます

した地域組織力が強みとなり、個性豊かな街並みやまちの活力を創出してきました。とともに、それらと区とのパートナーシップを確立し、ひとが輝くまちを創造していきます。

基本理念

分野

基本目標

取組の柱

- 1 今ある環境資源を活かしながら よりよい環境を創造し、次世代へ継承していきます
- 2 生活様式を見直し 地球環境に配慮した「環境都市」をめざします
- 3 地域を基盤に区民・事業者・区が協働して計画の実現に取り組んでいきます

1 自然

花とみどりの
輪が広がる、
うるおいのあるまち

①花とみどりの創出と保全

②花とみどりに親しむ機会の充実

2 気候変動

地球環境に配慮し、
脱炭素に向かうまち

①ゼロカーボンシティを意識した
ビジネス・ライフスタイルの転換

②エネルギー利用の脱炭素化推進

③気候変動への適応

3 循環型社会

廃棄を抑制し、
資源を大切にするまち

①ごみの発生抑制の促進

②資源循環の促進

4 生活環境

安心して美しく
快適なまち

①健康で快適な生活環境の確保

②まちの美化に向けた
環境配慮行動の普及・促進

5 環境学習・協働

一人ひとりが
環境を意識し、
行動するまち

①持続可能な社会を担う人づくり

②多様な主体による環境配慮行動の
推進

③環境保全の意識啓発と情報発信
の充実

体 系

主な取組事業の例

関連するSDGsの項目

- ・グリーン・リーダーの活動の活性化
- ・「花の心フラワーサポーター」支援 など



- ・花とみどりのコンテストの開催
- ・花苗等の提供による花に親しむ暮らしの普及
- ・イベント時の一時的な緑化に対する支援
- ・花とみどりに関するイベントの実施 など



- ・我が家・我が社のCO₂ダイエット宣言の普及
- ・事業所向け省エネ機器助成の推進
- ・ゼロカーボンシティ宣言の周知啓発 など



- ・共同住宅共用部照明のLED化の推進
- ・太陽光発電システム等の推進
- ・自治体連携によるカーボン・オフセットの推進 など



- ・雨水貯留槽の設置普及
- ・国産木材の利用促進
- ・暑熱対策「涼み処」の設置 など



- ・プラスチック削減の普及・啓発
- ・食品ロス削減に向けた情報発信
- ・食品ロス削減に向けた取組の促進
- ・生ごみ減量対策事業 など



- ・粗大ごみの資源化の実施及びリユース活動の促進
- ・プラスチック分別回収 など



- ・解体等工事現場におけるアスベスト飛散防止に関する監視、指導
- ・近隣に配慮した生活マナーの啓発
- ・日常生活に影響をもたらす鳥獣害への対策 など



- ・大江戸清掃隊への支援・連携の仕組みづくり
- ・喫煙等マナー向上の推進
- ・公衆喫煙所の整備 など



- ・各種環境講座・イベント・施設見学会の実施
- ・環境学習オンライン講座の実施
- ・森林体験ガイドウォークの実施 など



- ・環境（エコ）フェスタの開催
- ・地域での活動の促進・支援
- ・環境審議会の設置 など



- ・情報発信や自主的な環境学習の拠点としての機能の充実
- ・様々な広報媒体を活用した環境情報の発信
- ・環境基本条例の制定と周知啓発 など



課題

- みどりが持つグリーンインフラとしての多様な機能を活用し、自然とふれあう機会を創出していく必要があります。

コラム

自然環境の多様な機能を積極的に活用するグリーンインフラは、防災・減災、良好な景観形成、ヒートアイランド対策、温室効果ガス(CO₂)の吸収、生物の生息・生育空間の確保など、様々な効果をもたらしてくれます。



グリーンインフラの身近な事例
(台東区役所の屋上緑化と壁面緑化)

- グリーン・リーダーなどを通じて、区民参加による自然環境の保全活動を促進し、みどりに対する区民の愛着を醸成していく必要があります。

取組の柱

① 花とみどりの創出と保全

- 区有施設、道路の街路樹、公園などの緑化推進と、緑化計画による民有地の緑化指導や緑化助成などに引き続き取り組み、花とみどりを創出していきます。
- グリーン・リーダーや花の心フラワーサポーターの支援を通じて活動の活性化を図り、花やみどりを育みます。



グリーン・リーダーの活動の様子

② 花とみどりに親しむ機会の充実

- 身近な場所で花とみどりに触れ合う暮らしや、「花の心」を普及させる取組を進めていきます。
- 隅田川の親水護岸の整備、水辺空間のオープンスペースの確保などの取組が生物多様性の保全上も重要であり、グリーンインフラとして多面的な機能を持つことに対して、区民の理解を深めていきます。

指標項目
と
数値目標

指標項目	【現状】 令和4年度	【目標】 令和11年度 (2029年度)
緑被率	(10.1%)	10.8%
平均緑視率	(21.8%)	25%
身のまわりの花やみどりを 増やしている区民の割合	37.9%	50%

出典：緑被率/台東区みどりの実態調査（平成30年7月1日航空写真撮影）による
平均緑視率/台東区みどりの実態調査（平成30年6月30日～9月19日撮影）による
身のまわりのみどりを増やしている区民の割合/台東区環境基本計画改定に係る基礎調査（令和4年度）

取組の柱① 花とみどりの創出と保全		
NO.	事業名	担当課
1	区有施設における積極的な緑化の推進	施設課、環境課
2	教育施設の緑化の推進	環境課、庶務課
3	緑化計画による緑化の促進	建築課
4	民間施設緑化助成制度による緑化の促進	環境課
5	プランターによる緑化の促進	環境課
6	隅田公園サクラ再生	公園課
7	魅力ある公園の整備	公園課
8	街路樹の更新等による緑の充実	公園課
9	公園の花壇の維持管理	公園課
10	グリーン・リーダーの活動の活性化	環境課
11	「花の心フラワーサポーター」支援	環境課
12	区民参加による学校のみどりの維持管理	庶務課
13	区有施設の花壇の維持管理	環境課・各課
14	区内道路の花壇の維持管理	環境課
取組の柱② 花とみどりに親しむ機会の充実		
15	水辺に親しむイベントの開催	環境課
16	園芸文化・技術の継承・再生・普及	環境課
17	花とみどりのコンテストの開催	環境課
18	花苗等の提供による花に親しむ暮らしの普及	環境課
19	区民への「花の心」普及	環境課 都市計画課
20	イベント時の一時的な緑化に対する支援	環境課
21	花とみどりに関するイベントの実施	環境課
22	隅田川等の親水性の向上	都市計画課
23	水辺と調和する街並みの形成	都市計画課
24	【新規】生物多様性の理解と保全	環境課、公園課、 庶務課
再掲	学校ビオトープを活用した自然観察等の実施	指導課
再掲	「ビオトープ調査隊」の実施	環境課
再掲	区民自然観察員の養成	環境課
再掲	【新規】森林体験ガイドウォークの実施	環境課

太字：重点取組事業

課題

- 2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、省エネをはじめとする脱炭素化の取組を強化する一方で、太陽光発電などの再生可能エネルギーによる創エネのさらなる普及に取り組む必要があります。
- 地球温暖化に伴う様々な気候変動影響が顕在化しているため、それらの影響に対して適応策を進めていく必要があります。
- 気候変動対策として区が実施している様々な助成制度について、広報・周知していくことが重要です。

① ゼロカーボンシティを意識したビジネス・ライフスタイルの転換

- ゼロカーボンシティ宣言を周知するとともに、国が進める「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の普及啓発に取り組めます。
- 事業所の省エネ・創エネ設備導入に対する助成や最新技術を取り入れた環境関連製品の開発支援などを推進します。

② エネルギー利用の脱炭素化推進

- 再生可能エネルギーの普及啓発、導入促進策の充実や、大規模集合住宅における環境配慮を促進します。
- カーボン・オフセットの仕組みを活用し、森林整備と温室効果ガス排出量の削減に取り組めます。
- 太陽光発電や水素の利用などクリーンエネルギーへの転換を促進します。

③ 気候変動への適応

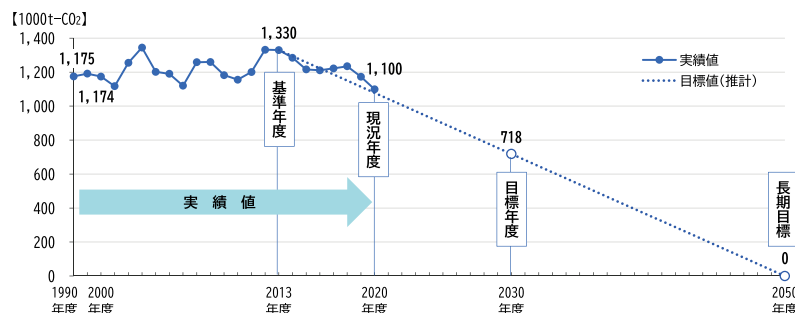
- 「打ち水」の推進や「微細ミスト」の普及、区有施設を等への「涼み処」の設置に取り組んでいきます。
- 熱中症等の予防に関し、区民や区を訪れる旅行者に対する注意喚起など情報提供に努めていきます。
- 建築物等への国産木材の利用を通じて快適性を高め空調負荷の低減を図るとともに、緑地保全・緑化推進に取り組めます。

取組の柱

指標項目 と 数値目標

指標項目	【基準年度】 平成25年度	【現状】 令和2年度	【目標】 令和12年度 (2030年度)	【長期目標】 令和32年度 (2050年度)
温室効果ガス排出量 削減率(1000t-CO ₂ eq)	— (1,330*)	17.3%減 (1,100*)	46%削減 (718) 〔さらに50% 削減を目指す〕	実質ゼロ

※オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」資料(令和5年3月)より



温室効果ガス排出量削減目標と実績値の推移

(実績値は、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」資料より出典)

取組の柱① ゼロカーボンシティを意識したビジネス・ライフスタイルの転換		
NO.	事業名	担当課
25	身近にできる省エネの普及推進	環境課
26	我が家・我が社のCO₂ダイエット宣言の普及	環境課
27	【充実】事業所向け省エネ機器助成の推進	環境課
28	省エネ通信簿の普及	環境課
29	省エネルギー診断	環境課
30	共同住宅向け省エネコンサルタント派遣	環境課
再掲	町会や事業者団体へのエココーディネーター派遣	環境課
31	家庭における環境配慮行動の普及促進	環境課
32	【充実】ビジネス環境配慮行動の普及促進	環境課
33	新製品新技術開発支援	産業振興課
34	【新規】ゼロカーボンシティ宣言の周知啓発	環境課
35	【新規】2050年「ゼロカーボンシティ特別区」の実現	環境課
36	【新規】最新技術を導入した省エネ・創エネ製品への助成の検討	環境課
37	【新規】「デコ活」の周知啓発	環境課、 清掃リサイクル課
取組の柱② エネルギー利用の脱炭素化推進		
38	【充実】共同住宅共用部照明のLED化の推進	環境課
39	【充実】区有施設への新エネ・省エネ設備の率先導入	施設課、環境課
40	環境改善資金融資あっせん（省エネ設備）	産業振興課、環境課
41	環境にやさしい商店街づくり支援	産業振興課
42	長期優良住宅認定制度による断熱等の促進	建築課
43	建築物の遮熱化の推進	環境課
44	建築物の断熱化の推進	環境課
45	【充実】太陽光発電システム等の推進	環境課、建築課
46	ソーラー診断の実施	環境課
47	家庭用燃料電池の普及推進	環境課
48	水素社会実現に向けた普及啓発	環境課
49	環境改善資金融資あっせん（エコカー）	産業振興課、環境課
50	燃料電池自動車の普及啓発	環境課
51	環境に配慮した車両の率先導入	環境課
52	【新規】燃料電池ごみ収集車の試験利用	台東清掃事務所
53	【新規】大規模集合住宅への環境配慮促進	住宅課
54	【新規】自治体連携によるカーボン・オフセットの推進	環境課
55	【新規】再生可能エネルギーの普及啓発	環境課
56	【新規】区有施設における低炭素エネルギーの導入検討	環境課
再掲	低公害・低燃費車への転換の普及・啓発	環境課
取組の柱③ 気候変動への適応		
57	透水性舗装の着実な推進	土木課
58	雨水や残り湯等の利用による打ち水の普及	環境課
59	雨水貯留槽の設置普及	環境課
再掲	区有施設における積極的な緑化の推進	施設課、環境課
再掲	教育施設の緑化の推進	環境課、庶務課
再掲	緑化計画による緑化の促進	建築課
再掲	民間施設緑化助成制度による緑化の促進	環境課
60	熱中症予防の周知啓発	保健サービス課
61	微細ミストの普及	環境課
62	コミュニティ防災の構築	危機・災害対策課
63	【新規】国産木材の利用促進	施設課、環境課
64	【新規】暑熱対策「涼み処」の設置	環境課

廃棄を抑制し、資源を大切にすま

課題

- 温室効果ガスの排出抑制や、天然資源の大量消費の見直しに向けて、3Rの推進はもとより、プラスチックの循環利用に取り組む必要があります。
- 食品ロスを減らすことがごみの減量に繋がることを認識し、区民・事業者・区が一丸となって、食品ロスの削減に取り組む必要があります。
- これまでのライフスタイルを変え、温室効果ガスの排出量とともにごみの発生量を減らしていく必要があります。



戸別収集の様子

取組の柱

① ごみの発生抑制の促進

- ごみの減量を推進していくため、区内全域でごみの戸別収集の実施や、集合住宅への適正な分別、排出ルールに関する働きかけ、事業系ごみの排出指導などを行います。
- ごみ減量に関する講座を実施するほか、食品ロスの削減に向けて情報発信や取組の促進、生ごみ減量対策の推進に努めます。
- 増え続けるプラスチックの削減に向けた普及啓発を進めます。
- イベント時の環境配慮行動の促進策を充実させ、イベント実施で生じるごみの発生抑制などに取り組んでいきます。



ごみ減量・リサイクル出前講座の様子

② 資源循環の促進

- 回収品目ごとに分かりやすい分別と、排出しやすい環境を整備していきます。
- 地域団体などの自主的な資源回収活動が継続して行えるよう支援します。
- 新たにプラスチックの分別回収に着手し、モデル事業の実施を通じて課題等を検討した上で、区全域での実施につなげていきます。

指標項目 と 数値目標

指標項目	【現状】 令和4年度	【目標】 令和12年度 (2030年度)
区民1人1日あたりのごみ・資源排出量	693 g	651 g [※]

※「台東区一般廃棄物処理基本計画」（令和3年3月）における目標値

取組の柱① ごみの発生抑制の促進		
NO.	事業名	担当課
65	ごみ減量出前講座等の実施	清掃リサイクル課 台東清掃事務所
66	ごみ減量等の啓発用小冊子の作成	清掃リサイクル課
67	プラスチック削減の普及・啓発	環境課 清掃リサイクル課
68	イベント時の環境配慮行動の促進	環境課 清掃リサイクル課
69	事業系ごみの排出指導	台東清掃事務所
70	集合住宅のごみ排出抑制の促進	清掃リサイクル課 台東清掃事務所
71	不法投棄対策の強化	台東清掃事務所
72	【新規】食品ロス削減に向けた情報発信	清掃リサイクル課
73	【新規】食品ロス削減に向けた取組の促進	清掃リサイクル課
74	【新規】生ごみ減量対策事業	清掃リサイクル課
75	【新規】給水機設置によるマイボトルの利用促進	環境課 清掃リサイクル課
取組の柱② 資源循環の促進		
76	資源回収の推進	清掃リサイクル課
77	集団回収の推進	清掃リサイクル課
78	リサイクル協力店認定制度の推進	清掃リサイクル課
79	環境リサイクル団体等の育成・支援	環境課 清掃リサイクル課 くらしの相談課
80	【新規】粗大ごみの資源化の実施及びリユース活動の促進	清掃リサイクル課
81	【新規】プラスチック分別回収	清掃リサイクル課

太字：重点取組事業



生活家電ごみ持込窓口
(環境ふれあい館ひまわり)

課題

- 快適な都市空間を維持するため、公衆喫煙所の整備、マナー指導員の配置による喫煙マナーの啓発などに取り組み、喫煙する人とならない人が共存できる環境づくりを推進する必要があります。
- 近隣住民の生活にともなう騒音や、ハトへのエサやり防止といった生活マナーについての啓発に取り組んでいくとともに、鳥獣による生活環境への被害防除対策を進めていく必要があります。



喫煙等マナー指導員

取組の柱

① 健康で快適な生活環境の確保

- 大気汚染、自動車騒音・道路交通振動、水質汚濁について、国や東京都と連携して継続的に調査・測定を行い、区民に適切に情報を提供していきます。
- 事業活動に伴う公害発生の防止に向けて、公害関連法規・条例等の規定に基づく現場実査及び改善指導を行います。
- 近隣に配慮したマナーの啓発に努めるとともに、観光客などの旅行者に対しても区民同様に注意喚起を図り、誰もが健康で快適に暮らせる環境づくりを進めていきます。
- シェアサイクルや循環バスの利用促進を通じて、環境にやさしい交通手段の普及に取り組めます。

② まちの美化に向けた環境配慮行動の普及・促進

- 自主的な清掃・美化活動を行う個人・団体を大江戸清掃隊として登録し、その活動を支援します。
- 景観条例等に基づく景観づくりや、本区の景観資源を活用した魅力ある景観形成を推進します。
- 喫煙する人、しない人の双方が共存できるよう、区内に公衆喫煙所を整備するとともに、喫煙等マナー指導や啓発を行っていきます。



大江戸清掃隊による
ごみゼロキャンペーン

指標項目 と 数値目標

指標項目		【現状】 令和4年度	【目標】 令和12年度 (2030年度)
環境基準	大気 (3項目)	概ね達成 (2項目達成)	達成
	水質 (4項目)	概ね達成 (3項目達成)	達成
	騒音 (評価対象戸数)	概ね達成 (94.5%達成)	達成
大江戸清掃隊 登録団体数		353団体	430団体

取組の柱① 健康で快適な生活環境の確保		
NO.	事業名	担当課
82	環境改善資金融資あっせん（公害対策設備）	産業振興課、環境課
83	低公害・低燃費車への転換の普及・啓発	環境課
84	自転車等駐車場の整備	交通対策課
85	タウンサイクルの促進	交通対策課
86	循環バスめぐりんの利用促進	交通対策課
87	道路上の看板設置・商品展示への対応	道路管理課
88	アスベストに関する相談対応・情報提供	環境課、建築課
89	アスベスト含有調査費及び対策工事費の助成	建築課
90	アスベストに関する届出や措置に関する指導	環境課
91	解体等工事現場におけるアスベスト飛散防止に関する監視、指導	環境課
92	工場・指定作業場への規制・指導	環境課
93	事業者へのVOC排出指導	環境課
94	化学物質使用事業者への指導及び情報提供	環境課
95	特定建設作業等への指導	環境課
96	近隣に配慮した生活マナーの啓発	環境課
97	日常生活に影響をもたらす鳥獣害への対策	環境課
98	環境調査の実施・公表	環境課
99	国・東京都や近隣自治体との連携	環境課
100	【新規】旅行者へのマナー啓発	観光課
101	【新規】生活環境や生態系の保全	環境課
再掲	【新規】暑熱対策「涼み処」の設置	環境課
取組の柱② まちの美化に向けた環境配慮行動の普及・促進		
102	大江戸清掃隊への支援・連携の仕組みづくり	環境課
103	まちの美化里親制度の推進	環境課
104	喫煙等マナー向上の推進	環境課
105	公衆喫煙所の整備	環境課
106	公衆喫煙所の設置・移設・廃止の検討	環境課
107	【新規】公衆喫煙所設置費等助成	環境課
108	ポイ捨て防止対策の実施	環境課
109	景観条例等に基づく景観づくり	都市計画課
110	景観資源を活用した景観形成の推進	都市計画課

太字：重点取組事業

課題

- 環境保全に取り組む区民のイベント等への参加機会を増やし、交流を促進するとともに、多様な主体の連携・協働の下で、活動のさらなる強化を図る必要があります。
- 環境講座などの集客を伴う環境学習において、対面・リモートを複合したハイブリッド開催などの新たな学習スタイルを取り入れていく必要があります。
- 環境情報の充実や環境学習の場の整備などを通じて、区民の環境保全活動を継続的に支援していく必要があります。



身近な自然を発信するボランティア「区民自然観察員」養成講座（精華公園）

① 持続可能な社会を担う人づくり

- 「環境ふれあい館ひまわり」を中心に、子供から大人まで幅広い世代を対象として環境学習の機会の充実を図ります。
- 学校や地域で行っている環境学習を通じて、次代を担う子供たちを、持続可能な社会を担う人材として育てていきます。



環境学習ハンドブック（区内の小学4年生に配布）

② 多様な主体による環境配慮行動の推進

- 環境（エコ）フェスタや地域での活動支援などを通して、多様な主体による自主的な環境配慮行動を推進していきます。
- 令和6年4月施行予定の「東京都台東区環境基本条例」に基づいて新たに「台東区環境審議会」を設置し、学識経験者や区民・事業者等の意見を区の環境行政に反映していきます。

③ 環境保全の意識啓発と情報発信の充実

- 環境保全への意識啓発を図るため、ホームページや広報紙・情報誌などによる情報発信の充実を図っていきます。
- 台東区環境基本条例の周知啓発、教育旅行の誘致に向けたプロモーションに取り組みます。

取組の柱

指標項目と数値目標

指標項目	【現状】 令和4年度	【目標】 令和12年度 (2030年度)
環境にやさしい暮らし方に取り組んでいる区民の割合	63.8%※1	78.7%
環境学習講座 受講者数※2	4,634人	7,600人

出典：環境にやさしい暮らし方に取り組んでいる区民の割合/台東区民の意識調査

※1 令和5年度 台東区民の意識調査

※2 環境ふれあい館ひまわりで実施した講座等

取組の柱① 持続可能な社会を担う人づくり		
NO.	事業名	担当課
111	区民による環境調査の実施	環境課
112	各種環境講座・イベント・施設見学会の実施	環境課
113	花の心の教育	指導課
114	環境学習見学会	環境課
115	環境教育プログラム・教材の開発	環境課
116	学校ビオトープを活用した自然観察等の実施	指導課
117	清掃施設見学会	指導課
118	町会や事業者団体へのエココーディネーター派遣	環境課
119	「ビオトープ調査隊」の実施	環境課
120	区民自然観察員の養成	環境課
121	青少年教育の推進	生涯学習課
122	台東区環境ポスター・標語コンクール	環境課
123	環境学習ハンドブックの作成	環境課 清掃リサイクル課
124	環境、ごみ減量・リサイクル講演会の実施	環境課
125	【新規】環境学習オンライン講座の実施	環境課
126	【新規】森林体験ガイドウォークの実施	環境課
取組の柱② 多様な主体による環境配慮行動の推進		
127	環境(エコ)フェスタの開催	環境課
128	地域での活動の促進・支援	環境課 清掃リサイクル課 台東清掃事務所
129	区民・事業者・区が協働した景観まちづくりの推進	都市計画課
130	花の心プロジェクト推進協議会運営	環境課
131	【新規】環境審議会の設置	環境課
再掲	家庭における環境配慮行動の普及促進	環境課
再掲	【充実】 ビジネス環境配慮行動の普及促進	環境課
再掲	新製品新技術開発支援	産業振興課
取組の柱③ 環境保全の意識啓発と情報発信の充実		
132	情報発信や自主的な環境学習の拠点としての機能の充実	環境課
133	各種環境調査結果・観察会情報等の提供	環境課
134	【充実】 様々な広報媒体を活用した環境情報の発信	環境課
135	環境ふれあい館公式X「まわるん」による環境情報の発信	環境課
136	環境案内人(エコガイド)の発行	環境課
137	【新規】環境基本条例の制定と周知啓発	環境課
138	【新規】 教育旅行誘致用プロモーション教材の作成	観光課

太字：重点取組事業

